

風水害を知ろう

風水害とは

台風や集中豪雨などによってもたらされる洪水や土砂災害が風水害です。毎年、いくつもの台風が接近・上陸する日本では、これまで多くの風水害に見舞われてきました。また、近年では、記録的な大雨や局地的な集中豪雨も発生しており、想定外の事態が生じる可能性もあります。

台風や集中豪雨などが発生した際には、風水害が発生する可能性があるため、気象情報に注意するとともに、危険な箇所から避難するなどの対策が必要です。

雨の強さと降り方の目安

降っている雨を観察することで、おおよその雨量を知ることができます。危険な状態になる前に自分で判断して避難ができるようにしておきましょう。

雨の強さ (予報用語)	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に 激しい雨	猛烈な雨
1 時間雨量	10 ～ 20 mm	20 ～ 30 mm	30 ～ 50 mm	50 ～ 80 mm	80 mm ～
人の受ける イメージ	ザーザーと 降る	どしゃ降り	バケツをひっくり 返したように降る	滝のように降る (ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫 感がある / 恐怖を感じる
人への 影響	 地面からの跳ね返り で足元がぬれる	 傘をさしていても ぬれる	 傘は全く役に 立たなくなる		

風水害のおそれがあるときの気象情報

気象庁では、大雨などの状況に応じて、段階的な気象情報を発表して注意や警戒を呼びかけています。大雨の際には、最新の情報入手に努めるとともに、早め早めの行動をとるように心がけてください。

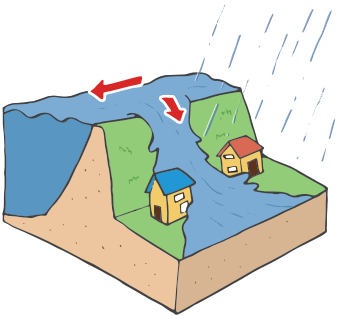
気象庁の情報		みなさんのとるべき行動
注意報	大雨や強風などによって、災害が起こるおそれのある場合に発表されます。	◆テレビやラジオなどからの情報に注意を！ ◆ハザードマップで危険な場所や避難場所、避難経路などを確認！
警報	重大な災害が起こるおそれのある場合に発表されます。	◆危険な場所には近づかず、避難勧告や避難指示が出た場合は、すみやかに避難を！
土砂災害 警戒情報	大雨警報（土砂災害）が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度がさらに高まったときに発表されます。	◆周囲の状況や雨の降り方にも留意し、危険を感じたら躊躇なく避難を！ ◆すでに屋外が猛烈な雨となっており、避難場所への移動が危険な場合は、屋内の安全な部屋（建物の2階やがけから離れた場所など）へ待避するなどの行動を！
記録的短時間 大雨情報	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測または解析したときに発表されます。	
特別警報	重大な災害の起こるおそれが著しく高まっている場合に発表されます。	◆これまでに経験したことがないような重大な危険に備え最大級の警戒を！ ◆重大な災害が発生してもおかしくない状況のため、適切な行動を！

洪水が発生する仕組み

■洪水（外水氾濫）

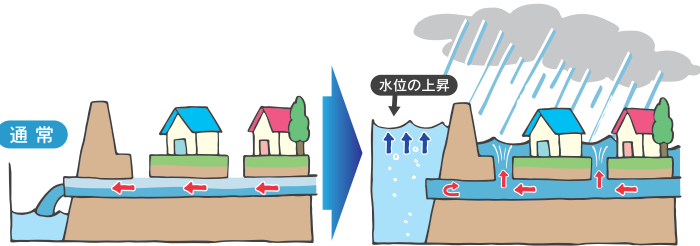
洪水（外水氾濫）とは、豪雨によって河川の水量が急激に増加し、異常な水量になることにより、水が堤防を超えたり、堤防が崩れて住宅地や農地などに水があふれることです。

堤防が壊れた際には、激流が押し寄せ、広範囲に浸水が広がり、多くの住民の命が危険にさらされる可能性があります。



■内水氾濫

町などに降った雨は、排水路などを通して川に排水されますが、大雨が降ると川の水位が上がり排水されにくくなり、排水路があふれてしまいます。これを「内水氾濫」と言い、あふれた水が堤防の内側にたまって家屋や道路に浸水被害を及ぼします。



板野町における過去の水害

平成16年10月の台風23号では、板野町においても大規模な水害が発生しました。「どこが浸水したのか」、「どの道路を使用することができたのか」など、近年起こった大規模な水害からの教訓を把握しておくことが重要です。

■台風23号による被害概況

●被害

浸水面積 : 455.35ha
床上浸水 : 2戸
床下浸水 : 35戸

●周辺の雨量

累計 425mm
1時間降水量最大 77mm
(10月20日11～12時 上板町七条)

●避難勧告等

避難勧告 3地区 45世帯
避難指示 8地区 1,353世帯 4,304人

●水位

【吉野川】岩津観測所（阿波市） 7.22m
【旧吉野川】大寺橋観測所（板野町） 4.29m
【宮川内谷川】七条観測所（上板町） 4.28m

●避難者数

81世帯 196人



崩壊した県道（黒谷川堤防）



一帯が海ようになった田畑（板野町内）



冠水した町道919号線（田園パーク東）